

地球発見隊

出前講座



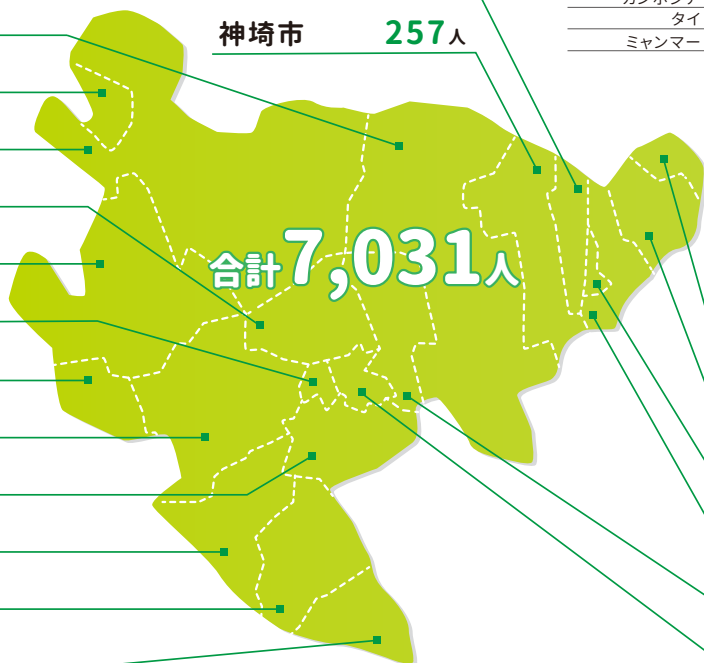
佐賀県内外国人住民の数

※令和3年年1月1日現在佐賀県国際課調べ

<市町別>

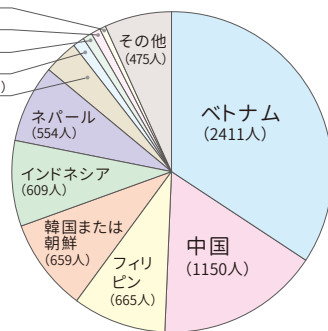
佐賀市	1,789人
玄海町	9人
唐津市	776人
多久市	198人
伊万里市	578人
大町町	20人
有田町	148人
武雄市	273人
白石町	184人
嬉野市	161人
鹿島市	160人
太良町	65人

吉野ヶ里町	195人
神埼市	257人



<国籍別>

バングラデッシュ	(46人)
スリランカ	(65人)
カンボジア	(68人)
タイ	(83人)
ミャンマー	(246人)



基山町	282人
鳥栖市	1,299人
上峰町	64人
みやき町	198人
小城市	295人
江北町	80人

～多文化共生理解出前講座とは～

県内にある保育・幼稚園、小・中学校・高等学校、公民館など営利を目的としない団体に、主に **県内の外国人住民を中心に講師として派遣**または紹介します。外国人講師が行うプレゼンテーションやゲーム等の活動を通して、異文化理解を深め、佐賀に住む外国人とのつながりを直接感じることができます。また、SPIRA職員派遣事業では、県内外国人住民の現状、やさしい日本語などを中心に、多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをお伝えします。

外国人住民がますます増えていくことが予想される県内において、外国人の視点からの話を聞き、同じ地域住民としてどのように共生していくのかを考えていただける講座を目指しています。

外国人講師派遣・紹介

～利用できる内容～

内容 1

- 異文化理解がメインであること。
- 講座時間は30分から1時間程度。
- 講師謝礼は当協会負担。交通費と会場確保は利用者負担。

講師 派遣

条件

- ・受講者10人以上
- ・県内どこでも
- ・営利を目的としないこと
- ・同一受講者でのご利用は年3回まで
- ・1回の派遣で講師2名

内容

利用者の要望に応じて、講座の内容を調整しますが、講師の出身国の文化・生活習慣・社会情勢又は講師から見た日本の印象等について話してもらいます。

費用

- ・講師交通費
- ・会場の確保

内容 2

- 料理や語学講座など異文化理解との関係性が低いもの。
- 講座の内容や受講者数、実施時間等制限なし。
- 講師謝礼と交通費、会場確保など利用者負担。

講師 紹介

SPIRA職員派遣

～職員派遣による講座テーマ（例）～

- 県内外国人住民の現状と課題
- やさしい日本語講座
- 多文化共生の地域づくり
- 外国人住民と地域防災を考える

費用

無料

国際協力理解出前講座（県内CSO講師派遣・紹介事業）

～国際協力理解出前講座とは～

県内には様々な国際交流・国際協力活動を推進しているCSO（市民社会組織）が多数あります。県民の皆さんの国際交流・協力への理解を深めることを目的に、これらのCSO団体との連携による海外経験豊富な日本人講師の派遣・紹介も行っております。

講座のテーマは以下の通りですが、講座中のゲームやワークショップなどの詳細内容や費用等については、SPIRAホームページにてご確認のうえ、A) 多文化共生理解出前講座と同様の方法でお申込みください。

県内CSOの講師紹介による講座テーマ(例)

名称・概要	講座テーマ（例）
特定非営利活動法人 愛未来 スリランカやパラオとの友好交流と女性の自立支援を行っています。	①日本とスリランカの友情の絆 ②日本とパラオの友情の絆 ③スリランカとパラオの環境と暮らし
空飛ぶ捜索医療団 (ARROWS) 国内外の災害時に捜索救助隊と医療従事者を現地派遣しています。	①災害にそなえよう、生き抜くために ②災害から自分を守る、家族を守る、地域を守る
認定特定非営利活動法人 カンボジア教育支援フロム佐賀 カンボジアで「学びたい子どもたち」の教育支援をしている団体です。	①教育を受けて子どもはどう変わったか ②カンボジアの昔と今 ③カンボジアってどがんとこ？
佐賀県ユニセフ協会 世界の子どもの健康と未来のために、広報活動と募金活動を行っています。	①子どもの人権について ②平和について考えよう ③SDGsについて
佐賀ユネスコ協会 平和と国際理解、国際協力、地域の文化と伝統を守る活動を行っています。	①ユネスコの活動紹介 ②世界の子どもの暮らしの紹介
独立行政法人 JICA九州 (JICAデスク佐賀) 開発途上国への国際協力を行う日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に行う機関です。 佐賀県海外協力協会 JICAが実施するJICA海外協力隊のOB・OGによる任意団体です。	①様々な分野で活躍したJICA海外協力隊体験談 ②世界の現状を体感しながら学ぶ参加型ワークショップ
認定特定非営利活動法人 地球市民の会 ミャンマー等での国際協力や県内での国際交流に取り組む、佐賀で生まれて35年目のNGOです。	①ミャンマーでの農村開発について ②NGOで働くこととは ③世界の貧困～国内やアジアの事例から～
認定特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス アフリカやアジアの紛争被害者の自立支援を行うNGOです。	①世界の紛争を知る ～わたしたちにできることを考えよう～ ②わたしたちが知らないカンボジア～カンボジアの光と影～ ③世界平和の実現に向けて～アフリカの元子ども兵士支援を通じて～
特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan) 日本生まれの国際NGOで、国内外で困難な状況の人々に寄り添う支援を行っています。	①国際協力・国際支援とは ②難民問題とは ③NGOで働くとは

まずはお気軽にお電話ください

【申込方法】

所定の申込書（裏表紙）にご記入のうえ、講座実施日 1か月前までに事務局までFAX・メールにてお申し込みください。

※所定の申込書は当協会のホームページでもダウンロード可能です。
 ※申込書に記載された日程や内容によっては、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

（公財）佐賀県国際交流協会 〒840-0826 佐賀市白山 2-1-12 佐賀商工ビル 1 階

FAX：0952-26-2055 E-Mail：info@spira.or.jp HP：https://www.spira.or.jp/



0952-25-7921

平日 9:00～17:15



実施日	2017/12/16 (火)	対象者	病院職員57人
講師	インドネシア	テーマ	インドネシアを知ろう

◎ 授業のねらい

嬉野医療センターは、初めて平成29年度EPA(インドネシア)看護師候補者生2名を受け入れることとなった。受け入れる施設側として、インドネシアについての知識が無く職員がサポートするにあたり、インドネシアについての理解が必要である。看護のみならず、全職員に対してインドネシアの歴史や文化を知り、病院職員一丸となって関われる体制を作りたい。

📖 授業の内容 (概要)

- ・インドネシアの地理について:地図を使って説明
- ・言語について:インドネシア語が主体である
- ・宗教について:イスラム教・キリスト教・仏教という宗教があり、約9割がイスラム教である。イスラムではお酒・豚肉を食しない。日本の食材に使われている原材料を確認する必要がある。基本的には手を使って摂取するが箸やスプーンを使用することもできる。5回/日のお祈りは2回のお祈りをまとめて実施する事もできる。お祈りの前には、手・口・足などを洗って身を清める必要があり、病棟で行うときには足などを洗う事ができる環境を考える必要がある。「断食」について、業務の内容など特別な調整は必要ないとの事であった。ジルバブは両親や夫などの家族以外の場所では外さないのが基本である。
- ・佐賀県に在住するインドネシア人について:伊万里の企業に多数のインドネシア人が在住し、インドネシアの食材などを定期的に販売するサービスなどもある。

🗨️ 実施者の感想 (抜粋)

イスラムの宗教については、受け入れ前から気になっていたことであるが、講演の内容や候補者本人達からの話を聴き対応にさほど問題ない事を理解できた。
インドネシアの生活の中では、あまり時間に厳格ではないところもある(インフラ環境の違いで)が、日本のルールについては理解を示して行動している事を候補者生からも知る機会となった。
今後は佐賀県在住のインドネシアや外国の方との交流などを計画していきたいと思った。

😊 受講者の感想 (抜粋)

インドネシアという国の文化や生活習慣、ムスリムの方の断食、ハラル及び佐賀でのインドネシア事情等、知らないことばかりだったので大変勉強になりました。インドネシアの方が日本、日本人についてどんなふうに思っているのか、文化や流行っていることも聞けたら良かった。



実施日	2018/12/8 (土)	対象者	園児80人
講師	チュニジア	テーマ	チュニジアの国の紹介

◎ 授業のねらい

4,5歳児の学童生徒を対象に保育・教育プログラムとして国際理解講座を実施している。文化等の日本との違い、様々な共通点を学び、経験から感じながら、違いを認め違いを楽しむ力を育てています。この取組の一環として親子で参加し、楽しめるイベントを行い学びを深める機会にしたい。

📖 授業の内容 (概要)

- ・チュニジアの国紹介
- ・パワーポイントを使って、国の概要や、文化、言葉、料理、民族衣装などを紹介
- ・チュニジアの手遊びや簡単なゲーム(2人組での手遊び・目隠しゲーム)
- ・チュニジアモチーフの塗り絵
- ・チュニジア料理の試食
- ・写真撮影



チュニジアの紹介

🗨️ 実施者の感想 (抜粋)

・なかなか馴染みのない北アフリカの国について、実際にその国の方からお話を聞くことができ、大変良い学びの機会になった。
・パワーポイントでのお話も、こども園、保育園の子どもたちでも分かりやすいように工夫をされていて、とても良かった。
・歌やゲームは、日本でも似たようなものがあるものだったため、理解しやすく、2人組で行うことで参加者の雰囲気も良かった。また、簡単な単語や数の数え方も含まれていて、子どもたちも興味を持って取り組んでいた。
・継続した取り組みとして今後も続けていきたい。



チュニジアの話に興味津々!

😊 受講者の感想 (抜粋)

・先生(講師)がとても素敵で、子どもたちとも積極的に関わっていただけて良い機会となった。
・聞くだけではなく、体験や料理もあって、面白かった。



チュニジア料理



実施日	2019/1/23 (水)	対象者	中学1年～3年生89人
派遣先	ボリビア	テーマ	日本と世界とのつながりを考える

◎ 授業のねらい

外国の方や文化の豊かな出会いを経験し、今後さらに世界とのつながりを意識させる目的。

📖 授業の内容 (概要)

ボリビアの学校の様子、言葉、首都の話、日本との違いなど、とてもわかりやすくお話をしていただきました。生徒と一緒にボリビアの歌を歌ったり、楽器を見せていただいたり、工夫されていて45分があつという間でした。また、今回は人権集会の「共生」と世界とのつながりを考える「異文化理解」というテーマで講座を開きましたが、どちらの観点からも様々なことを考えることができて大変よかったです。

🗨️ 実施者の感想 (抜粋)

国際理解講座ではいつも外国の方からの話を聞いていました。今回、青年海外協力隊という仕事を通して、日本人の視点から外国のことを聞くことができました。多くの生徒が「日本では学校で学ぶことがいかに幸せであるか」を改めて実感したようです。また、青年海外協力隊という仕事について興味を持ち、世界に関心を寄せることができました。そして今後、世界の国々についてもっと調べてみたい、外国で働いてみたいという夢や目標を持つことができたようです。

😊 受講者の感想 (抜粋)

・ボリビアという国は聞いたことがあったけど、全然知らなかったの、お話はとても面白かったです。ボリビアの国の人たちから見る日本のイメージにも驚きました。また、日本とボリビアには全然違うところがたくさんありました。学校に名前がなかったり、事情があつて学校にいけない子どももいるということに驚きました。今日のお話を聞いて、ボリビアという国以外にも興味を持ちました。まだ知らないことがたくさんあるので調べてみたいです。
(中2)

・ボリビアの小学生は学校にいきたくてもいけない小学生がたくさんいると聞いて、僕たちはたくさん恵まれているなーと思いました。僕はこれまでボリビアというくにをあまり聞いたことがありませんでした。しかし、今日お話を聞いて、とてもボリビアに興味がわきました。僕も将来青年海外協力隊に入って、海外の子どもたちを手助けして幸せにしたいです。
(中3)



ボリビアの話をする講師



実施日	2019/1/31 (木)	対象者	1年生38人
派遣先	セントルシア	テーマ	異文化を知り、日本、外国の良さを感じよう

◎ 授業のねらい

日本以外の国を知り、その国の良さを感じたり、改めて日本の良さについて考えたりすること、海外で働くことや生活することの良さや大変さを知ることをねらいとして行った。

📖 授業の内容 (概要)

セントルシアで青年海外協力隊として活動された講師をお招きしました。講義は3部構成で行われました。

- ①セントルシアの歴史や暮らしについて
- ②セントルシアでのボランティア活動について
- ③タオルで目隠しをし、全盲の体験

🗨️ 実施者の感想 (抜粋)

日々、社会はグローバル化が進んでいますが、学校では、実際に外国の文化に触れる機会は少ないです。今回の講座を通して「もっと海外のこと知ってみたい」と思った生徒が増えたようです。また、海外でのボランティア活動は、多くの困難がありながらも、ひた向きに現地の人のために活動された講師の話聞いて、生徒たちは感激したようでした。

今後も生徒の知見を広め、キャリア形成に役立つような授業、指導をしていきたいと考えています。今回、その一環としてこの講座を開催できたのはとても有意義でした。

😊 受講者の感想 (抜粋)

・セントルシアという国を初めて知った。行ってみたいと思った。
・私も障害者の方を助けられるボランティア活動をしたいと思った。
・スティールパン(楽器)の音色がきれいだった。



生徒の前で挨拶をする講師



先生/生徒と記念写真

地球発見隊出前講座 申込書

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 理事長 様

申込日： 年 月 日 ()

申込み団体名		申込講座名	<input type="checkbox"/> A 多文化共生理解出前講座 (外国人講師・SPIRA職員) <input type="checkbox"/> B 国際協力理解出前講座 (日本人講師)	
団体種別	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 公共機関 <input type="checkbox"/> 民間団体 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> その他	申込回数	A (3回まで) 回 B 回	
住所	〒 -	A 実施日時	年 月 日 曜日 時間 1回目: ~ 2回目: ~ 3回目: ~	
代表者			A 受講者	人数 学年・年齢構成等 1回目: 人 2回目: 人 3回目: 人
担当者				A 希望講師人数・出身国
E-mail		A 利用実績		
電話番号	(携帯可)		B 実施日時	
FAX	<input type="checkbox"/> 無			B 希望講師派遣団体名・人数
実施会場	会場名	B 受講者		
	所在地		A・B 事前打合せ	
	電話 最寄駅 駅			
移動方法	<input type="checkbox"/> 講師自宅⇄会場 送迎有 <input type="checkbox"/> 最寄駅まで公共交通機関を利用してもらう、最寄駅⇄会場 送迎有 <input type="checkbox"/> その他 (別途調整) ※講師決定後、講座の実施時間に合わせ、会場までの詳細ルートを講師にお伝えください。			
A 経費 (注1)	講師派遣の場合: <input type="checkbox"/> 交通費負担について了承しました	B 希望講師派遣団体名・人数		
	交通費: 円 支払方法:			
	講師紹介の場合: <input type="checkbox"/> 謝礼と交通費の負担について了承しました			
	謝礼: 円 交通費: 円 支払方法:			
※講師のマイナンバーが必要な場合、必ず事前にお知らせください。				
B 経費	・県内CSOに要する経費は、当協会のHPにてご確認ください。			

(注1) A 多文化共生理解出前講座 (外国人講師) において、
 ・実施目的が語学講座や料理交流会等の異文化理解との関連性が希薄の場合、講師紹介のみとさせていただきます。(謝礼や交通費等は貴団体の負担)
 ・実施目的が国際交流や異文化理解と関連性が高い場合、講師派遣とさせていただきます。(講師謝金は当協会負担)
 ・協会職員の派遣に関しては、謝礼や交通費はかかりません。

講座名 (テーマ)	
{ 実施目的 }	
{ 話してほしい内容を具体的に教えてください }	
{ その他 (ご要望等) }	

<申込み先・問合せ先> 佐賀県国際交流協会 TEL: 0952-25-7921 FAX:0952-26-2055
 本申込用紙は当協会のHPでもダウンロード可能です。ご利用ください。